

課題番号	1	分野名	造林	予算区分	県単
研究課題	強度間伐による森林整備に関する研究				
担当者名	菅沼 好一		研究期間	平成19～23年度	

目的

強度間伐は奥山林整備（とちぎの元気な森づくり事業）の重要な手法であり、間伐の効果や間伐に伴う影響等の知見を補完するため、1. 税事業の効果測定を行う、2. 本県の広葉樹化に不可欠なフモトミズナラの生態を明かにして、間伐後の森林管理手法を提案する。

方法

県内5か所に試験区を設定し、20×20m内の立木の胸高周囲長を間伐前・間伐後1～2年の3年記録する。20×20m内に1×1mを3か所毎設定して、植被率を間伐前・間伐後1～2年記録する。

宇都宮周辺のフモトミズナラ分布地3か所に20×30mの固定試験地を設置して、胸高直径5cm以上の毎木調査、コナラ・フモトミズナラの位置の記録、2×2mを10個連続して設定しコナラ・フモトミズナラの実生の消長を記録した。

結果概要

調査地の概況(間伐前の状況)

	ha 当たり 成立本数	平均胸高 周囲長 (cm)	備考
県西(日光市豊岡)	2,188	50.1	
県北(大田原市北野上)	2,288	43.4	
県東(茂木町逆川)	1,413	71.2	
県南(佐野市野上)	1,300	83.8	クマハギ多数
矢板(塩谷町玉生)	1,875	65.1	

調査地の概況

	ha 当たり成立本数			ha 当たり胸高断面積計 (m ²)		
	全体	フモトミズナラ	コナラ	全体	フモトミズナラ	コナラ
宇都宮市飯盛山	2,517	850	33	41.4	28.0	1.0
宇都宮市羽黒山	2,950	433	750	30.5	8.7	15.0
塩谷町上沢	2,700	283	700	31.9	4.0	10.0